

学習計画（シラバス）

教科	科目	対象学年	単位数	教科書著書・発行所	使用教材・発行所
国語	現代の国語	1	2	「新編 現代の国語」 北原保雄 他28名（大修館書店）	明鏡国語辞典（大修館書店）
指導の重点	<p>1 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。</p> <p>2 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできる。「話すこと・聞くこと」において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>3 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>				
評価の観点	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。			
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。			
	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。			
学習の評価	<p>1 定期考査や課題テストで「知識・理解」「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>2 授業中のペアワークやグループワーク、発表、提出レポート等で「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>3 課題提出で「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>4 上記の1～3で総合的に年間の評価を行う。</p>				
学期	単元	学習内容	学習の目標		
1 学期	日本語を使いこなす	ことばの使い分け	<ul style="list-style-type: none"> 場面や目的に応じて適切な言葉を選ぶことができる。 敬語の正しい使い方や類義語のニュアンスの違いを理解し、適切に使い分けようとしている。 		
	日本語を使いこなす	正しく書こう	<ul style="list-style-type: none"> 正しく適切な表記について理解することができる。 表記や係り受けに注意して、正確で整った文を書こうとしている。 原稿用紙の使い方を理解しようとしている。 		
	日本語を使いこなす	伝わるように話そう	<ul style="list-style-type: none"> 大切なことを落とさずに、正確に書こうとしている。 自分にとって必要な情報を意識して、メモをとりながら聞くことができる。 		
	わかりやすく説明する	人間はゴリラとチンパンジーのどちらに近いか	<ul style="list-style-type: none"> 説明のしかたに注意して文章を読むことができる。 順序を表す言葉や接続表現、問題提起と答えに着目して、文章の構成をつかもうとしている。 		
	わかりやすく説明する	絵や写真を説明しよう	<ul style="list-style-type: none"> 説明のしかたに注意して文章を読むことができる。 順序を表す言葉や接続表現、問題提起と答えに着目して、文章の構成をつかもうとしている。 		
2 学期	聞く力を育む	聞き取りのレッスン	<ul style="list-style-type: none"> 相手に伝えたいことを、わかりやすく整理して話そうとしている。 		
	日本語を使いこなす	文を整え、文をつなぐ	<ul style="list-style-type: none"> あいまいな文や長くてわかりにくい文を避け、簡潔でわかりやすい文を書くことができる。 接続表現を使いこなし、論理的でわかりやすい文章を書こうとしている。 		
	論理を読み取る	論理の展開を読み取ろう	<ul style="list-style-type: none"> 主張と根拠、具体と抽象、対比に着目することで、論理展開をとらえようとしている。 論理的な文章の要旨を的確に読み取ることができる。 		
	論理を読み取る	水の東西	<ul style="list-style-type: none"> 対比の関係に着目し、その意図を考えながら読もうとしている。 具体例の働きや具体と抽象の関係をとりえ、筆者の主張を読み取ることができる。 		
	説得力を高める	意見文の基礎を学ぼう	<ul style="list-style-type: none"> 意見文の基本的な書き方と、構成のしかたを理解しようとしている。 意見と理由を備えた基本的な意見文を書くことができる。 		
3 学期	説得力を高める	反対意見を想定した意見文を書こう	<ul style="list-style-type: none"> 反対意見を想定しつつ、自分の意見を説得力のある意見文にまとめることができる。 		
	説得力を高める	ミニ討論会をしよう	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えが効果的に伝わるように、根拠を明確にして効果的に主張することができる。 相手の主張と根拠の関係をとりえて反論しようとしている。 		
	情報と向き合う	情報の力関係	<ul style="list-style-type: none"> 図との関係に注意しながら、文章を読み取ることができる。 文字・図形・絵などが読者に与える効果の違いについて考えようとしている。 		